

旭川市内におけるヘルパンギーナの流行について

旭川市の感染症発生動向調査において、ヘルパンギーナの流行状況が、流行発生警報の開始基準値を超えたことから、平成23年8月5日に警報を発令しました。
お子様の体調管理にご留意ください。

1 ヘルパンギーナとは

- ・主にコクサッキーウイルスと呼ばれるウイルスが原因となる感染症です。夏に流行します。
- ・罹患する年齢は5歳以下がほとんどです。

2 ヘルパンギーナの症状は

- ・2～4日の潜伏期間を経て、38℃から40℃の発熱、のどの水ぶくれや痛み、不機嫌、食欲不振などがみられます。
- ・予後は良好ですが、まれに重症化して、無菌性髄膜炎を合併することがあります。

3 ヘルパンギーナの予防法は

感染経路は、感染した者の唾液や鼻汁などが飛散し吸い込むことによっておこる飛沫感染や汚染された手などを介しての経口感染があります。
流行時は、以下のことにご注意ください。

- ・流水と石けんによる手洗い、うがいをしましょう。
- ・感染者との密接な接触を避けましょう。
- ・症状が消失しても感染した人の便には1～4週間にわたってウイルスが便に排出されるため、排便後の手洗いを徹底しましょう。

4 ヘルパンギーナにかかってしまったら

- ・早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- ・水分を十分に補給し、脱水を防ぎましょう。
- ・症状があるときは集団の場への参加を控えましょう。

